

施策コード	2-4
-------	-----

中心所管課	生涯学習課
関連所管課	教育政策課

第2章	人と文化を未来につなぐまちづくり -教育・文化-							
基本施策名	4 生涯学習							
総合計画の目標指標								
指標名	単位	策定時	実績値			目標値		SDGs独自指標
		R2	R3	R4	R7	R12		
生涯学習活動に満足している割合	%	15.0	—	11.1	17.0	20.0		
GCSL(市民講師)の登録者数	人	77	74	69	80	85		
公民館における生涯学習活動の参加者数	人	157,333	73,256	98,254	159,000	161,000		
公民館における生涯学習活動のクラブ・サークル数	団体	345	363	364	365	390		
科学館の開催講座数	回	317	160	273	340	340		
科学館の開催講座参加者数	人	17,189	2,999	4,484	18,000	18,500		

施策の内容(主な取組)		
単位施策名	実績・成果	今後の方向
1 自発的な生涯学習の推進	市や文化協会、公民館、科学館により多種多様な生涯学習講座を開催した。また、GCSL蒲郡市文化スポーツリーダーによる市民企画講座を開催した。	引き続き、市民の生涯学習への参加が進むよう多様な学習機会を提供をしていく。またGCSLの活動を支援し、GCSL同士の繋がりを促進する機会の創出を目指す。
2 学校・地域・団体との連携による生涯学習活動の推進	多種多様な講座を学校、地元企業と連携して開催した。	引き続き、市民の学習機会の充実を図るため、学校、地元企業、団体と連携し多種多様な講座を開催する。
3 公民館を拠点とした学習機会による地域交流の推進	地域学校協働活動の一環で公民館利用者が講師となり児童向けの体験講座を昨年度より多く開催した。	子どもの体験活動に公民館で活動するクラブ・サークルが関わることで地域住民のつながりづくりや学習意欲の向上を図る。
4 学習活動からまちづくりへの展開	三河湾環境チャレンジを実施した。	学校側の要望に基づき開催し、蒲郡の自然の豊かさや大切さを学び、郷土愛を育くむ機会を提供する。

個別計画の目標指標							
計画名	蒲郡市生涯学習推進計画2022				計画期間	令和4年度～令和8年度	
指標名	単位	策定時	実績値			目標値	
		R2	R3	R4	R5	R6	R7
生涯学習課、市民会館、文化協会、公民館、生命の海科学館が主催する講座・ワークショップの実施回数	回	—	327	502			
生涯学習課が主催する大学・企業との連携講座の実施回数	回	—	20	21			
地域学校協働活動ボランティア延べ参加者数	人	—	968	3,019			

主要事業の実績評価					
施策番号	事業名	事業費(千円)		実績(R4年度)	今後の方向
		R4(決算額)	R5(予算額)		
		人工			
1	生涯学習講座開催事業	90	364	市民教養講座や、GCSL蒲郡市文化スポーツリーダーが企画する市民企画講座を開催した。	文化協会、公民館が開催する生涯学習講座に加え、今後もGCSLが企画する市民企画講座等を開催し、市民に多様な学びの場を提供する。
		0.1人工			
1	市民パソコン教室開催事業	328	645	パソコンやスマートフォンを活用した講座を全10講座行った。	ICTの活用が難しい市民を対象とし、パソコンやスマートフォンを活用した講座を継続して開催する。
		0.1人工			
2	科学館教育普及事業	5,959	6,512	対面、オンラインでワークショップを273回開催し、4,484名が参加した。	引き続き、市民の学習機会の充実を図るため、学校、地元企業、団体と連携し多種多様な講座を開催する。
		0.3人工			
3	公民館の施設複合化	0	0	塩津・西浦地区で複合化に向け、住民同士が交流しやすい設計を検討。	他地区の公民館で可能な所は地域の交流拠点となるよう他施設との複合化を目指す。
		0.2			
3	放課後子ども教室	314	2,274	地域学校協働活動モデル地区を中心として49回開催。	令和6年度までに全小学校での開催を目指す。
		1.5			
4	三河湾環境チャレンジ	1,018	1,200	市内小学校11校、児童数合計544名をフィールドワークで実施。	蒲郡の海でのフィールドワークを実施し、蒲郡の自然の豊かさや環境の大切さを学んでもらう。
		0.1人工			

総括評価	成果	各施策や事業で世代に応じ現在の市民ニーズに合わせた学習の機会を提供することができ、オンラインも併用するなど市民の学習活動に対する利便性に寄与した。また、GCSL蒲郡市文化・スポーツリーダーによる市民企画講座やリーダー相互の交流会を実施し人材育成にも繋がっている。
	課題	GCSLの高齢化やコロナの影響による離脱により活動者の減少が人材不足を招いている。また、地域学校協働活動は、学校と公民館の場所が離れている地区は公民館との連携がしづらいため、工夫が必要である。
	今後の方向	市民の生涯学習意欲に応えるため、文化協会、GCSL等の指導者の育成や指導者同士の交流を深めることによる学びの多様化を進めていきたい。また、子どもたちを育む地域づくりのために、三河湾環境チャレンジは学校現場のニーズに寄り添いながら実施する。公民館を拠点とした地域交流の推進をするために、学校と公民館の複合化や地域連携の拠点の設置を検討していく。